

受賞者のその後の取組（平成 29 年現在）

平成20年度 財務大臣賞 受賞	受賞者名	キリンビール株式会社 神戸工場
	所在地	兵庫県神戸市
	受賞テーマ	副産物・廃棄物の再資源化100%、省エネ活動の実践と積極的な広報活動
	1. 活動継続 あり	1997年の操業時から副産物・廃棄物の再資源化100%を継続している。 工場全体で省エネ活動を取り組んでおり、エネルギー原単位・用水原単位実績はともに社内（工場）でトップレベルを維持している。
2. 活動の広がり あり	2014年兵庫県、2015年神戸市と県・市産品の活用や地域活性化支援などで協力する包括連携協定を締結。環境問題や水源の保全に関する取組みを始め、地域活性化や災害時の施設提供などの地元への貢献活動を実施。活動の一環で兵庫県内の小学生等を対象としたビオトープ見学会を実施し、延べ19,154人（2016年末）に環境保護の重要性の啓発活動を行った。また、JICAを始めとした各種団体の要請を受け、工場見学に来場された国内外の企業向けに社内の環境に対する取組みを紹介している。	 <p>ビオトープ見学会の様子</p>
3. 活動の進化 特になし	上記の活動の継続とその広がり（参加人数の拡大等）を実施している。	
4. 今後の計画	副産物・廃棄物の再資源化100%について、今後も新たな処理方法や取引先の拡大を検討していく。また、省エネ活動やビオトープ見学会等、地域に密着した環境活動を継続していく。	

（次頁に表彰概要掲載）

【表彰概要】

同工場では、1997年5月の操業開始以来、副産物・廃棄物の再資源化100%を実施している。

タンパク質やビタミンBなど栄養価が高いビール仕込み粕は、牛などの飼料に利用するほか、きのこの培地や潰瘍性大腸炎患者向け食品にも利用されている。また、ビールづくりに使用した酵母は、原料に戻して再利用するだけでなく、健康食品などより付加価値の高い再資源化に取り組んでいる。

さらにバイオガスエンジン式コジェネレーションシステム、太陽光発電、VRC（Vapor Re-Compression System：蒸気再利用装置）の導入等、省エネ活動に取り組んだ結果、CO₂排出量、用水使用量原単位は、キリンビールの工場平均の約半分という全社の中でトップレベルの実績を達成している。

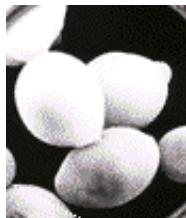
また同工場では、工場見学、工場内に設置したビオトープ見学会などを通じて、地域の小中学校や子供会、企業等への環境啓発を行っている。年間来場者数は直近の1年間で20万人を超え、2008年には、兵庫県、神戸市、神戸商工会議所主催の「ひょうご・神戸国際サミット」の会場になり、「G8環境大臣会合」が神戸市で開催されたときに、視察先として民間企業でただ1社選ばれた。



仕込み粕



きのこ培地



余剰酵母



健康食品

副産物・廃棄物の再資源化の例



G8環境大臣会合の際の神戸工場訪問